

2022（令和4）事業年度

決算報告書

自：2022（令和4）年4月 1日

至：2023（令和5）年3月31日

国立大学法人横浜国立大学

令和 4 年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	8,298	8,370	72	注 1
施設整備費補助金	1,159	1,116	△ 42	注 2
補助金等収入	288	573	285	注 3
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	30	30	－	
自己収入	5,721	5,688	△ 32	
授業料、入学料及び検定料収入	5,636	5,466	△ 169	注 4
雑収入	85	222	136	注 5
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,739	4,358	1,619	注 6
引当金取崩	－	0	0	注 7
目的積立金取崩	281	60	△ 220	注 8
計	18,516	20,198	1,682	
支出				
業務費	14,300	13,894	△ 405	
教育研究経費	14,300	13,894	△ 405	注 9
施設整備費	1,189	1,146	△ 42	注 10
補助金等	288	392	104	注 11
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,739	3,570	831	注 12
計	18,516	19,003	488	
収入－支出	－	1,194	1,194	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 令和 4 年度年俸制導入促進費の追加配分による特殊要因運営費交付金 6 百万円の増、予算段階で予定していなかった教育・研究基盤維持経費の配分による特殊要因運営費交付金 61 百万円の増、予算段階で予定していなかった基幹運営費交付金 4 百万円の増により、予算額に比して決算額は 72 百万円多額となっております。
- (注 2) 予算段階で予定していた予算額の変更による 74 百万円の減、令和 4 年度当初予算採択事業による 31 百万円の増により、予算額と比して決算額が 42 百万円少額となっております。
- (注 3) 予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことによる 309 百万円の増、当期末収入金分 23 百万円の減の理由により、予算額と比して決算額は 285 百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が 170 百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注 4) 授業料収入 190 百万円の減、入学料収入 13 百万円の減、検定料収入 34 百万円の増により、予算額に比して決算額は 169 百万円少額となっております。
- (注 5) 財産貸付料収入等により、予算額に比して決算額は 136 百万円多額となっております。

おります。

- (注 6) 寄附金収入 123 百万円の減、受託研究収入 1,208 百万円の増、共同研究収入 77 百万円の増、受託・共同事業収入 81 百万円の減。一方、前年度以前の収入を財源として、寄附金収入 0 百万円の増、受託研究収入 105 百万円の増、共同研究収入 181 百万円の増、受託・共同事業収入 11 百万円の増、科学研究費補助金等間接経費収入 237 百万円の増となり、予算額に比して決算額は合計 1,619 百万円多額となっております。
- (注 7) 退職手当引当金及び賞与引当金により、予算額に比して決算額が 0 百万円多額となっております。
- (注 8) 令和 4 年度当初予算の翌年度以降への繰越のため、予算額に比して決算額は 220 百万円少額となっております。また、目的積立金取崩には、授業料免除実施経費が 3 百万円含まれております。
- (注 9) (注 1) 及び、(注 4)、(注 5) に記した理由等により、予算額に比して決算額が 405 百万円少額となっております。
- (注 10) (注 2) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 42 百万円少額となっております。
- (注 11) (注 3) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 104 百万円多額となっております。
- (注 12) (注 6) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 831 百万円多額となっております。